

東京剣連だより



第97号

Tokyo Kendo Federation News



東京都ジュニア選手・育成強化事業剣道基本教室



第31回東京都女子居合道大会会場係



第36回東京都杖道大会・第25回東京杖道祭

- 年頭ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・千葉胤道 1
- 居合道の紹介・・・・・・・・・・・・・・・・伊藤繁男 3
- 杖道の歩み・・・・・・・・・・・・・・・・釣賀敏郎 5
- 令和7年度事業計画・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 大会記録・報告・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 審査会報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 喫煙・飲酒とがん・・・・・・・・・・・・・・ 塚原清彰 20
- 居合道部会活動報告・・・・・・・・・・・・・・伊藤繁男 23
- 杖道部会活動報告・・・・・・・・・・・・・・尾辻瑞人・尾辻久美子 23
- 支部活動報告・・・・・・・・・・・・・・ 24
- 中体連活動報告・・・・・・・・・・・・・・小野定則 26



年頭ご挨拶

一般財団法人東京都剣道連盟

会長 千葉 胤道

新年あけましておめでとうございます。東京都の剣道人の皆様におかれましては、ご健勝にて良き新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は元日に能登半島地震が発生し、9月には同半島北部を襲った記録的大雨災害による甚大な被害を受け、地震と大雨の二重被災となりました。復興途上にあります。復旧と大雨の二重被災となり、被災された皆様は、倒壊建物の解体作業が遅れ、再建は今年10月頃の見通しとの報道もあり、被災された皆様には心からお見舞い申し上げますとともに、完全なる復旧、復興を祈念しております。

経済関係では、国際的な原材料価格の高騰に加え、円安の影響などから、ガソリンをはじめとしたエネルギー、食料品等の値上げ、そして好調なインバウンドや、AI（人工知能）の普及により半導体関連の景況感が良好であることを背景に、不動産価格も上昇しました。私達を取り巻く生活環境は、活性化しつつある経済を反映した賃金が上昇したものの、厳しさが増しました。また、デジタル技術の進展に伴い、生成AIを使った偽動画等、真偽の見極めが難しい情報がインターネット上に飛び交い、混迷を深める時代を迎え、情報の信頼性を確認する仕組みが必要となりました。

東京都においては比較的平穏な1年が過ぎ、ご同慶の至りであり

ます。

令和6年度最初の事業である「第64回東京剣道祭」が4月7日に東京武道館で開催されました。この剣道祭は「日頃の鍛錬の成果をお互いに確かめ合う良き機会であり、交流を深める場でもある」としています。参加者は1都1府8県から1060名が集い、内75歳以上「高齢者の部」では92名が参加され、まさに「生涯剣道のお手本」であります。全国大会関係では東京都代表選手の活躍によって輝かしい戦績を残すことができました。4月29日エディオナアリーナ大阪（大阪府立体育会館）で第72回全日本都道府県対抗剣道優勝大会が開催され7年ぶり13回目の優勝に輝きました。7月15日には日本武道館にて第16回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会が行われ初優勝しました。都道府県対抗男女の同時優勝は東京都剣道連盟史上初となります。9月7日午前に「東京都剣道選手権大会」、午後には三笠宮瑤子女王殿下のご臨席を仰ぎ「寛仁親王杯第24回剣道八段選抜大会」が開催され、1都8県から63歳以下の剣道八段位32名が出場し、格調高い剣技に魅了されました。第72回全日本剣道選手権大会、第63回全日本女子剣道選手権大会が11月3日（日・祝）に日本武道館にて同時開催され、剣道選手権大会は竹ノ内祐也選手が平成26年11月第62回大会に次ぐ2回目の優勝、女子剣道選手権大会に

おいては近藤美洗選手が初優勝しました。ともに警視庁所属選手でこのダブルタイトルも連盟史上初めてであります。

8月7日には小学生剣士に大変好評の「東京都ジュニア選手・育成強化事業剣道基本教室」を東京武道館にて開催したところ、176名の参加者がありました。講師は世界剣道選手権大会、全日本剣道選手権大会等の優勝経験者である竹ノ内祐也、矢野貴之、宮本敬太、星子啓太の各先生をお招きし、基本を重視した打ち込み、切り返しを中心に指導いただきました。参加者には講師のサイン入り色紙、本連盟手拭い、そして講師との記念撮影と楽しい思い出となる基本教室でした。

本連盟倫理委員会は弁護士、公認会計士、検事、学識経験者で構成されていますが、連盟の目的、事業執行の公正さに対する社会からの疑惑や不信を招くような行為を防止するため、更なるガバナンスの確保、コンプライアンスの強化を目指し、本連盟剣道、居合道、杖道における全ての講習会において「倫理に関する講話」を取り入れました。

年頭にあたり、本連盟は都道府県レベルで比較すると、高段者の比率、女性剣士の比率が高く、日本の剣道、居合道、杖道のあらゆる面で範となる活動が求められています。また、剣道人口減少に歯止めをかけ、増加に転ずるためにIT委員会、広報委員会を中心にIT関連等を駆使した具体策を検討し、行動に移す時期にも来ています。このようなことを含め、今年も引き続き三道の正しい伝承と普及活動に尽力して参りますので、所属団体をはじめ、各方面の皆様からのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年も皆様にとって実り多い、素晴らしい年となりますことを祈念して年頭の挨拶いたします。





居合道の紹介

居合道部会
会長 伊藤 繁男

一、居合道の特徴

武道としての居合道の最大の特徴は、稽古の主眼に「日本刀」を用いることと一人稽古に重きをおいていることです。

美術工芸品とも称される実用品である日本刀を手に取り帯刀する。そして、精神を集中して抜き付け、切り下ろし、残心を取りつつ心静かに納刀する感覚は他の武道ではなかなか味わうことができないものがあると思います。これが一人稽古の醍醐味であり、一人稽古だからこそ、単純な動きの中で心身の調和と技術の錬磨を己に問いかける修行ができるのであり、「動禅」といわれるゆえんです。

居合における修行とは、流派により多少の違いはあるものの、数本に及ぶ基本から奥義に至る形を学び、鍛錬し、いかにして流祖の境地に近づくことができるかですが、一人稽古ゆえに、老若男女年齢を問わず、自身の体調や能力に合う稽古方法を選択できるといふ、誰にでも挑戦できる間口の広い武道といえます。そして、一人稽古を補うための稽古方法が、刃引刀・木刀・袋撓ふくろしないなどを用いた、相対しての組居合です。一人稽古では難しい相手との距離感やタイミングの取り方、日本刀の特徴である「鎗しのぎ」の使い方などで学びます。組居合で得たものを一人稽古に生かして実のあるものとし、更に一人稽古で高めた技術を組居合で体感する。この様な繰り返し稽古の中心になります。

各流派では、「真剣」のほか「模擬刀・刃引刀・木刀・袋撓・脇差」

などを使って様々な稽古体系が組まれており、その独自性に流儀の考え方を見ることができません。

全国各地では、競技試合としての居合道の大会が数多く開催されています。居合道の試合の特徴は、その多くが男女混合年齢区分なしでの各段別ごとで行われることです。ここでは、体格性別差は関係なく、稽古で得た技量を表現し、全日本剣道連盟の「居合道試合・審判規則及び細則」に則って勝敗が宣告されます。令和6年度の全日本居合道大会東京代表3選手の内1人は女性であり、他府県代表と競い合い遜色ない成績を残しました。近年の歴史・刀剣ブームの影響もあるのか、女性と小中高生の日本刀と居合道への関心が高まり、居合道部会では、会員数に占める女性会員や小中高生会員の比率が、年々大きくなってきたことが大きいと思われます。

一、居合道の大会

- (一) 東京武道館で開催される大会
 - 「全日本居合道大会」 全日本剣道連盟主催・東京都剣道連盟主管
 - 「関東甲信越居合道大会」 東京都剣道連盟主催・居合道部会主管
 - 「東京都居合道大会」「東京都女子居合道大会」 居合道部会主催
- (二) 居合道部会を構成する地区主催の大会
 - 「城東地区居合道大会」「城南地区居合道大会」
 - 「城西地区居合道大会」「城北地区親善居合道大会」
 - 「中央地区居合道大会」「多摩西部地区交流居合道大会」など

三、居合道部会の所属団体

居合道部会所属団体は次の様な流派で構成されており、東京都剣道連盟居合道部会のホームページには、部会支部の稽古場所一覧表があります。

- 「夢想神伝流」「無双直伝英信流（無雙直傳英信流）」
- 「無外流（無外眞傳無外流居合兵道）」「双水執流」「神刀流」

「伯耆流（片山流）」「田宮流（田宮神剣流）」
 他道府県では、全日本剣道連盟加盟団体として「天真正伝香取神道流」「水鷗流」「関口流」「新陰流（制剛流）」「夢想神傳重信流」などを伝承する団体・稽古場所があります。

四、日本刀と刀装具に関連する言葉

全日本剣道連盟加盟団体では、下図の「打刀」「打刀拵」のような一式の拵えによる日本刀を使用して稽古・演武が行われています。囃中に、日常生活の中で使われる名称があり、一部を列記します。

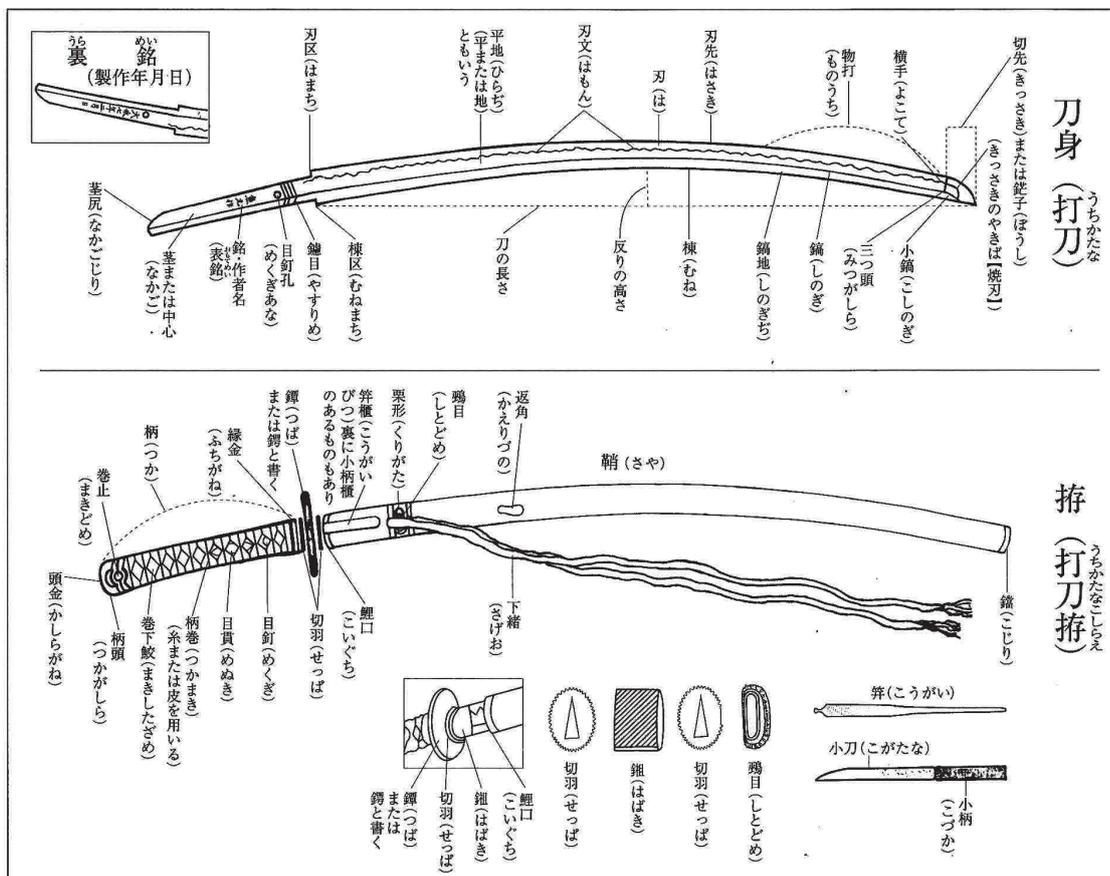
- ・目貫通り
- ・鑊競合い
- ・切羽詰まる
- ・鑊を削る
- ・鞘当て
- ・元の鞘に納まる
- ・反りが合わない
- ・また、関連する言葉は以下のとおりです。

- ・付け焼き刃
- ・抜き打ち
- ・刀の錆にする
- ・刀折れ矢尽きる
- ・とんちんかん
- ・焼を入れる
- ・返す刀
- ・地鉄が出る
- ・押し取り刀
- ・相槌を打つ
- ・焼きが回る
- ・火花を散らす
- ・太刀打ちできない
- ・一刀両断
- ・単刀直入
- ・など

居合道を始めるきっかけは、歴史・時代劇が好き、日本刀に興味がある、剣道の修業の一環として…など人それぞれです。もし少しでも興味をもった方がいらっしやいましたら、東京都剣道連盟居合道部会のホームページをご参照の上、お近くの居合道場までお気軽にお問い合わせください。

東京都剣道連盟居合道部会ホームページ (<https://www.tokyo-iaidobukai.jp/>)

引用抜粋…全日本剣道連盟居合（解説） 日本刀および拵の各部名称





杖道の歩み

杖道部会
会長 釣賀 敏郎

新年あけましておめでとございます

昨年度は東京都剣道連盟並びに会員皆様のご支援とご協力をいただきながら部会の活動が出来ましたことに感謝申し上げます。部会は現在45団体約660名の会員が登録されておりますが、今後、会員の高齢化が一層進むことが懸念され、伝統武道である杖道の次代への継承には青年も含めた若年層の掘り起こし、底辺の拡大、若手指導者の育成が喫緊の課題であります。本年も継承すべく会員皆様方と共に邁進して参りたいと思います。

1. 杖道とその沿革

(1) 杖道とは

杖道は長さ128cm(4尺2寸1分)直径2.4cm(8分)の白樫の丸棒(杖)を武器として打ち掛かる相手を制圧する武道です。「突かば槍 払えば薙刀 持たば太刀 杖はかくにも外れざりけり」と伝書にありますように、杖は見るからに平凡そのものの武器です。しかし、太刀、槍、薙刀の技に独自の動きを加味した操法は誠に玄妙多彩で、正面はもとより左右から繰り出す杖先の一撃には予測を超えた鋭さが秘められています。杖道の稽古は防具を一切使用せず、立会いの形に基づいて行い、白樫の杖と太刀による「形」の修得と錬磨を主体とし、攻撃を主とせず、相手の攻撃に応じて技を繰り出し制圧するのが本旨です。伝書に曰く「傷つけず 人を懲らして戒しむる 教えは杖の外にやはある」といわれるように、殺傷を主とせず、己の身を全うする武道であるといわれています。

(2) 杖道の沿革

全日本剣道連盟杖道の起源は、江戸時代初期に夢想権之助勝吉が創始

した神道夢想流杖術です。夢想権之助勝吉は飯篠長威斎を流祖とする天真正伝香取神道流の道統七代に当たり、神道流の奥儀を極め、更に鹿島神流の極意「一の太刀」を授かったと伝えられています。あるとき、宮本武蔵と立会い、武蔵の十字留に押すことも引くこともできずに敗れたとあります。敗れた後、権之助は武者修行を重ね、筑前大宰府の宝満山に籠って創意工夫の結果編み出したのが神道夢想流杖術です。

口承では杖を持って武蔵の十字留を破ったとも伝えられています。その後、代々福岡の黒田藩に取り入れられ、捕り手武術の一環として幕末、明治、大正、昭和と連綿と伝承し発展してきたもので、現在の全日本剣道連盟杖道につながってまいりました。

2. 全日本剣道連盟杖道

杖道は昭和初期から東京と福岡を中心に普及が図られましたが、第二次世界大戦により活動は減速。さらに昭和20年の終戦直後から杖道の組織的普及活動はしばらく休眠を余儀なくされてまいりました。戦前戦後を通じ杖道の普及活動の核となっていた清水隆次先生は昭和30年に全日本杖道連盟を発足させ、戦後初めての本格的な古武道大会として「第1回各流武道大会」を東京渋谷公会堂で開催し、以降の普及活動を急展開させることになりました。昭和31年には更に杖道を普及拡大させるために全日本剣道連盟(以下全剣連)に加入することになりました。

全剣連の下で杖道の段位審査を行うようになりましたが、当時は統一された杖道の形はなく、また神道夢想流杖術以外の流派も多く



あり、各流派それぞれの形で審査が行われていました。しかし、全剣連としての統一された形が必要であることから、昭和38年（1963年）5月、全剣連内に杖道研究委員会（委員長・清水隆次範士他、委員14名）が設けられました。杖道研究委員会では数年研究を重ね、昭和43年（1968年）2月に草案が完成。理事会および審議会の審議を経て、同年3月29日の審議会において可決。太刀を「打」、杖を「仕」とする基本12本、立会の形12本が制定され、「全日本剣道連盟杖道」として発足したのです。また、同年「形」の制定を契機として、全日本杖道連盟を解散し、杖道の普及活動は全面的に全剣連に移管することになりました。

制定された形は昭和43年12月1日、全日本剣道選手権大会、昭和44年5月、京都大会において、「打」清水隆次、「仕」乙藤市蔵両範士により公開演武が行われ、本格的な普及活動に入りました。

その後、昭和52年（1977年）と昭和62年（1987年）に一部改正がなされました。しかし、大まかな取り決めて行われていたため、指導者間において指導内容に差異が生じ、審査あるいは試合等での判断に齟齬（そご）がみられることから、統一を図るべく、平成15年（2003年）4月に杖道解説書の改訂を行いました。平成29年（2017年）4月に更なる統一を図るため、一部追加、修正が行われ現在に至っています。

3. 全日本杖道大会

全剣連杖道が昭和43年に制定された後、本格的な普及活動に入ります。年2回各地において講習会を開催し、5年後の昭和49年（1974年）8月4日に第1回全日本杖道大会が東京都芝学園で開催されました。試合は段別で、2組の出場者が、指定技を「仕」「打」交代して演武し、その「充実した氣勢」「正しい姿勢」「正確な打突と打ち込みの強弱」「間合と間」「目付」「残心」「礼法」などを審判員が判定して勝敗を決するものです。

昭和49年 第1回大会 初段以下の部から五段の部

昭和58年 第10回大会 初段の部から五段の部

昭和63年 第15回大会 初段の部から六段の部

平成8年 第23回大会 初段の部から七段の部まで設けられ、現在に至っています。

演武内容も、当初は各段全剣連杖道形指定技3本を「仕」「打」交代して同じ技を演武し勝敗を決していましたが、平成21年の第36回大会から指定技6本を、前半3本、「仕」「打」交代して後半3本を演武し勝敗を決することとしました。

開催地については各都道府県持ち回りで実施しています。

また長い歴史の中で2回中止になっています。

令和元年10月13日第46回大会神奈川県で開催予定が台風19号の影響

令和2年10月11日第47回大会埼玉県で開催予定が新型コロナウイルス感染症拡大のため

4. 杖道講習会・段位審査

講習会は令和元年まで年3回実施しておりました。令和3年度以降は、平成4年より実施していた中央講習会を地区講習会と併せ、中央・地区講習会として年2回の開催となっています。

段位審査は、全剣連主催で六、七、八段各年2回実施する他、五段以下審査は実施可能な都道府県で行われています。

5. 海外の杖道

欧州においては、欧州剣道連盟（EKF）主催で始まった欧州杖道選手権大会、講習会、審査会が、2024年度で22回目を迎えております。開催は各国持ち回りで実施。他に、カナダ、オーストラリア、北米、南米、等多くの地域に広がりを見せています。

6. 東京都剣道連盟杖道部会

昭和53年に東京都剣道連盟杖道部会が発足し、関東各県のみならず全国の普及拡大の核としての役割を果たしてまいりました。東京における杖道普及の礎（もと）となったのは、近代杖道界の大功労者故・清水隆次範士であります。その後、歴代会長が清水先生の遺志を受け継ぎ、杖道を通じ「剣道理念」の実現を目指して三道（剣道、居合道、杖道）の一翼を担うべく、杖道部会が一丸となって事業を推進して諸活動に取り組んでおります。皆様のご理解、ご協力、ご指導の程お願い申し上げます。

令和七年度事業計画表

会場、東京武道館

無印(午前・午後) ○(午前) △(午後) □(夜間)

【4月】

- 5日(土) 女子剣道審判講習会
- △5日(土) 女子剣道稽古会
- 5日(土) 東京都居合道大会
- 6日(日) 東京剣道祭
- 10日(木) 居合道合同稽古会
- 19日(土) 国民スポーツ大会選手選考会
- 20日(日) 剣道四・五段審査会
- 20日(日) 剣道合同稽古会
- 24日(木) 杖道合同稽古会

【5月】

- 11日(日) 東京都スポーツ大会
- △11日(日) 全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会
- 予選会
- 15日(木) 居合道合同稽古会
- 18日(日) 剣道高段者稽古会
- 18日(日) 剣道合同稽古会
- 20日(火) 国民スポーツ大会
- 選手選考会(最終)

24日(土) 東京都女子年齢別剣道大会

【6月】

- 5日(木) 杖道合同稽古会
- 15日(日) 剣道合同稽古会
- 19日(木) 居合道合同稽古会

【7月】

- 5日(土) 女子剣道稽古会
- △5日(土) 全日本都道府県対抗少年大会
- 選手選考会
- 5日(土) 全日本居合道大会予選会
- 7日(月) 剣道合同稽古会
- 12日(土) 剣道六・七段受審者講習会

△12日(土) 登録審査要員等研修会

19日(土) 東京都杖道大会・東京杖道祭

19日(土) 居合道登録審査員研修会

△21日(月・祝) 女子剣道講習会

□24日(木) 居合道合同稽古会

【8月】

- 2日(土) 剣道四・五段受審者講習会
- △2日(土) 登録審査要員等研修会
- 7日(木) 杖道合同稽古会
- 28日(木) 居合道合同稽古会

【9月】

- 6日(土) 東京都剣道選手権大会
- △6日(土) 寛仁親王杯剣道八段選抜大会
- 7日(日) 東京都青年剣道大会
- △7日(日) スポーツフェスティバル東京
- 13日(土) 東京都女子剣道選手権大会
- 14日(日) 東京都女子居合道大会
- 14日(日) 剣道合同稽古会
- 18日(木) 居合道合同稽古会
- 20日(土) 杖道指導者審判講習会
- 21日(日) 剣道八段受審者講習会
- 23日(火・祝) 女子剣道稽古会
- 27日(土) 居合道五段以下審査会

【10月】

- 4日(土) 杖道五段以下審査会
- 4日(土) 剣道合同稽古会
- 9日(木) 杖道合同稽古会
- 16日(木) 居合道合同稽古会
- 26日(日) 剣道合同稽古会
- 30日(木) 東京都シニア大会

【11月】

- 6日(木) 居合道合同稽古会
- 29日(土) 剣道四・五段審査会
- 30日(日) 剣道合同稽古会

【12月】

- △6日(土) 東京都形剣道大会

□11日(木) 居合道合同稽古会

□14日(日) 剣道合同稽古会

□18日(木) 杖道合同稽古会

令和八年

【1月】

- 10日(土) 関東甲信越居合道大会
- 10日(土) 剣道合同稽古会
- 15日(木) 居合道合同稽古会

【2月】

- 1日(日) 剣道四・五段審査会
- 1日(日) 剣道高段者稽古会
- 1日(日) 剣道合同稽古会
- 7日(土) 全日本都道府県対抗剣道優勝大会
- 予選会

△7日(土) 女子剣道稽古会

7日(土) 杖道指導者審判講習会

□12日(木) 居合道合同稽古会

□19日(木) 杖道合同稽古会

23日(月・祝) 剣道八段受審者講習会

28日(土) 東京都剣道大会

28日(土) 居合道八段受審者講習会

□2日(月) 剣道合同稽古会

□12日(木) 居合道合同稽古会

21日(土) 東京都少年剣道大会

21日(土) 杖道五段以下審査会

28日(土) 居合道四・五段審査会

日程未定事業

剣道講師要員研究会

居合道伝達講習会

※詳細は事務局へお問い合わせ下さい。

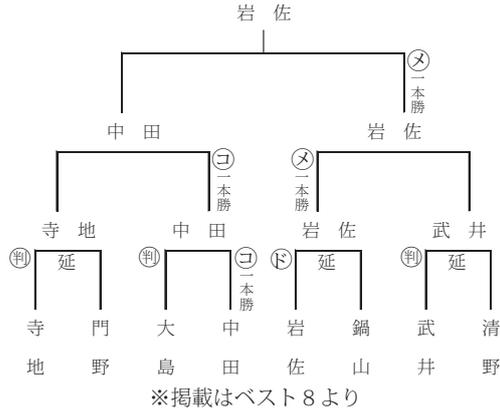
なお、会場の都合で日程を変更する場合があります。

ありますのでご了承下さい。

大会記録

寛仁親王杯第二十四回剣道八段選抜大会
令和6年9月7日
於 東京武道館

- 優勝 岩佐 英範(警視庁)
- 準優勝 中田 淳(警視庁)
- 第三位 寺地 四幸(警視庁)
- 第三位 武井 幸二(世田谷)
- 優秀試合者賞 門野 政人(高体連)
- 優秀試合者賞 大島 浩(警視庁)
- 優秀試合者賞 鍋山 隆弘(茨城)
- 優秀試合者賞 清野 忍(山梨)



※掲載はベスト8より



八段選抜大会決勝戦

第十九回全日本都道府県対抗少年剣道
優勝大会選手選考会
令和6年7月6日
於 東京武道館

- 小学生の部
- 監督 権瓶 功泰
 - 先鋒 川勝 心雅(葛飾区)
 - 次鋒 石坂 結和(杉並区)
 - 中堅 介中 陽菜(江東区)
 - 副将 鈴木 瑛斗(江東区)
 - 大将 千葉 陽(杉並区)



都道府県少年選考会
役員・小学生代表選手



都道府県少年選考会試合風景

中学生の部

- 監督 木村 孝治
- 先鋒 伊藤 月詩(西東京)
- 次鋒 金城 穂垂(中体連)
- 中堅 権瓶 力毅(板橋区)
- 副将 地主 朝陽(中体連)
- 大将 清水 星汰(中体連)

第五十九回全日本居合道大会予選会
令和6年7月7日
於 東京武道館

五段の部

- 優勝 木村 裕子(立川)

六段の部

- 優勝 滝澤 貴典(警視庁)

七段の部

- 優勝 吉田 真澄(文京)



全日本居合道大会予選会
役員・各部門優勝者

第三十六回東京都杖道大会

第二十五回東京杖道祭

令和6年7月27日

於 東京武道館

一級以下の部

優 勝 石田 広記 (日本武道館杖道教室)

準優勝 東野 紘司 (警 視 庁)

準優勝 笹原 幸宏 (桃林杖道会)

初段の部 中谷 雄貴 (桃林杖道会)

優 勝 尾辻 瑞人 (日本武道館杖道教室)

準優勝 尾辻久美子 (日本武道館杖道教室)

準優勝 齋藤 開斗 (東京理科大学)

上坂 裕哉 (東京理科大学)

二段の部

優 勝 近藤 卓 (日本武道館杖道教室)

準優勝 村上 綾菜 (日本武道館杖道教室)

湯川進太郎 (白鷗大学杖道会)

優 勝 石橋 陽平 (警 視 庁)

準優勝 石井 良三 (警 視 庁)

川越 伸二 (警 視 庁)

東原 竜司 (警 視 庁)

四段の部 田伏 廣輝 (晃武杖道会)

山崎 柊 (晃武杖道会)

吉田 一品 (蔵脩館杖道会)

石田 祐子 (蔵脩館杖道会)

優 勝 角田 知明 (蔵脩館杖道会)

準優勝 篠 隆弘 (多摩杖道会)

関塚 直貴 (警 視 庁)

中川 修 (警 視 庁)

六段の部 日高 昭仁 (警 視 庁)

谷 賢一郎 (警 視 庁)

準優勝 高山 一三 (桃林杖道会)

高山ゆき子 (桃林杖道会)

優 勝 笠原 忠幸 (警 視 庁)

高鷲 強 (警 視 庁)

準優勝 関口 正行 (警 視 庁)

佐藤 健一 (警 視 庁)

七段の部

優 勝 笠原 忠幸 (警 視 庁)

高鷲 強 (警 視 庁)

準優勝 関口 正行 (警 視 庁)

佐藤 健一 (警 視 庁)

第六十三回東京都剣道選手権大会

令和6年9月7日

於 東京武道館

優 勝 星子 啓太 (警視庁)

第二位 宮本 敬太 (警視庁)

第三位 竹ノ内佑也 (警視庁)

大平 翔士 (警視庁)

第三位 荒川 区

第三位 台東 区

優 勝 青梅 市

第二位 港 区

第三位 板橋 区

多摩 市



東京都剣道選手権大会
入賞者

令和6年度東京都青年剣道大会
令和6年9月8日

於 東京武道館

男子の部

優 勝 板橋 区

第二位 杉並 区



東京都青年剣道大会
女子決勝戦



東京都青年剣道大会
女子優勝チーム

令和6年度スポーツフェスティバル東京
於 東京武道館
令和6年9月8日

- 優勝 国分寺市
- 第二位 葛飾区
- 第三位 東村山市
- 第三位 多摩市



スポーツフェスティバル東京準決勝戦

第四十三回東京都女子剣道選手権大会
於 東京武道館
令和6年9月14日

- 優勝 佐藤みのり (警視庁)
- 第二位 近藤 美洸 (警視庁)
- 第三位 内田 涼子 (警視庁)
- 第三位 表 ちさと (警視庁)



女子選手権大会決勝戦



女子選手権大会入賞者

第三十一回東京都女子居合道大会
於 東京武道館
令和6年9月15日



女子居合道大会各段決勝

- | | | | | | |
|-------------|--|----------|----------|----------|---------|
| 無段の部 | | 優勝 小俣華音 | 準優勝 今村真緒 | 第三位 浜崎葵 | 第三位 関口穂 |
| 初段の部 | | 優勝 横山心音 | 準優勝 山口葉音 | 第三位 山崎愛美 | 第三位 尾方空 |
| 二段の部 | | 優勝 神谷陽菜乃 | 準優勝 小林桃子 | 第三位 尾方空 | 第三位 尾方空 |

- 第三位 寺村美祐
- 第三位 嶋永朱里

- 優勝 池田朱里
- 準優勝 兒玉みゆき
- 第三位 金信智恵子
- 第三位 八重樫春菜

- 優勝 陸井美揮
- 準優勝 青柳萌絵
- 第三位 都丸琳子
- 第三位 関 優花

- 優勝 木村裕子
- 準優勝 星野すみれ
- 第三位 鷗川真衣
- 第三位 新垣 愛

- 優勝 諏訪山玲似子
- 準優勝 小澤裕花
- 第三位 後藤知佳
- 第三位 一宮裕美

第二十九回シニア健康スポーツフェスティバルTOKYO
於 東京武道館
令和6年10月24日

- 女子の部
- 優勝 井関由美子 (世田谷区)
- 第二位 桑原千佳子 (練馬区)
- 第三位 大木清美 (品川区)
- 第三位 渡邊智子 (練馬区)



シニア健康スポーツフェスティバルTOKYO
80歳以上の部入賞者

- 男子の部**
- 五十九歳～六十四歳の部
- 優勝 露木 幹也 (武蔵野市)
 - 第二位 小野間 弘 (あきる野市)
 - 第三位 山本 修平 (清瀬市)
 - 第三位 川名 賢充 (大田区)
- 六十五歳～六十九歳の部
- 優勝 宗 順一 (狛江市)
 - 第二位 本多 秀樹 (板橋区)
 - 第三位 宇津木正弘 (八王子市)
 - 第三位 伊垣 誠 (葛飾区)

- 七十歳～七十四歳の部
- 優勝 金子 巧 (八王子市)
 - 第二位 前島 国臣 (練馬区)
 - 第三位 鋤柄 富昭 (多摩市)
 - 第三位 古賀 孝昭 (日野市)
- 七十五～七十九歳の部
- 優勝 荻原 正夫 (江戸川区)
 - 第二位 清水 孝司 (小平市)
 - 第三位 田中 正人 (小平市)
 - 第三位 田中 育男 (葛飾区)
- 八十歳以上の部
- 優勝 小柳 哲夫 (国分寺市)
 - 第二位 小菅 昇 (西東京市)
 - 第三位 田代 嘉明 (江東区)
 - 第三位 近藤 良基 (足立区)

大会報告

第十六回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会
令和6年7月15日 於 東京都

- 監督 荒川富美恵
- 先鋒 伊東 董 (高体連)
 - 次鋒 中原 菜月 (学生クラブ)
 - 五将 内田 涼子 (警視庁)
 - 中堅 森 宏恵 (警視庁)
 - 三将 近藤 美洸 (警視庁)
 - 副将 杉本久美子 (警視庁)
 - 大将 矢野比路代 (杉並)

- 二回戦 東京都 4-0 新潟県
- 三回戦 東京都 2-0 愛媛県



全日本都道府県女子優勝 集合写真

- 四回戦 東京都 3-1 福岡県
- 準決勝 東京都 2-1 神奈川県
- 決勝戦 東京都 3-3 埼玉県
- 優勝

第七十四回日光剣道大会
令和6年8月18日

- 監督 藤原 康宏 於 栃木県

- 先鋒 加納 誠也 (警視庁)
 - 次鋒 貝塚 泰紀 (西東京)
 - 中堅 菊地 裕志 (皇宮)
 - 副将 下村 和弘 (千代田)
 - 大将 古澤 伸晃 (学連剣)
- 一回戦 東京都 2-2 茨城県

第七十八回国民スポーツ大会
関東ブロック大会
令和6年8月24日 於 山梨県

- 成年女子**
- 監督 石井 猛
- 先鋒 佐藤みのり (警視庁)
 - 中堅 近藤 美洸 (警視庁)
 - 大将 大串真裕美 (台東)

- 少年男子**
- 監督 天野 康寿
- 先鋒 齊藤 真斗 (郁文館)
 - 次鋒 吉田 新 (明大中野)
 - 中堅 宮原 蓮 (郁文館)
 - 副将 築場 虎輝 (足立学園)
 - 大将 久保木 瞭 (郁文館)
 - 補員 垣井昭太郎 (東海高輪台)

- 少年女子**
- 監督 坂田 正晴
- 先鋒 伊東 董 (淑徳巣鴨)
 - 次鋒 伊東 葵 (淑徳巣鴨)
 - 中堅 小関 桃子 (淑徳巣鴨)
 - 副将 中嶋カオル (淑徳巣鴨)

大将 大越 心 (日体大桜華)
補員 木元 美麗 (淑徳巣鴨)

成年女子が3位で、少年女子が1位で佐賀国体の出場権を獲得しました。

第十九回全日本都道府県対抗

少年剣道優勝大会
令和6年9月15日

於 大阪府

小学生の部

監督 権瓶 功泰
先鋒 川勝 心雅 (葛飾区)
次鋒 石坂 結和 (杉並区)
中堅 介中 陽菜 (江東区)
副将 鈴木 瑛斗 (江東区)
大将 千葉 陽 (杉並区)

予選リーグ

東京都 3-0 宮崎県
東京都 0-0 京都府
トーナメント
一回戦 東京都 2-3 茨城県

中学生の部

監督 木村 孝治
先鋒 伊藤 月詩 (西東京)
次鋒 金城 穂垂 (中体連)
中堅 権瓶 力毅 (板橋区)
副将 地主 朝陽 (中体連)
大将 清水 星汰 (中体連)

予選リーグ
東京都 1-1 大分県
東京都 1-1 (季) 和歌山県

第七十八回国民スポーツ大会

令和6年9月28日~9月30日

於 佐賀県

少年女子

監督 坂田 正晴
先鋒 伊東 董 (淑徳巣鴨)
次鋒 伊東 葵 (淑徳巣鴨)
中堅 小関 桃子 (淑徳巣鴨)
副将 中嶋カオル (淑徳巣鴨)
大将 大越 心 (日体大桜華)
補員 木元 美麗 (淑徳巣鴨)

一回戦 東京都 2-0 北海道
二回戦 東京都 1-3 熊本県

成年女子

監督 平尾 泰
先鋒 佐藤みのり (警視庁)
中堅 近藤 美洸 (警視庁)
大将 大串真裕美 (台東)

一回戦 東京都 2-0 宮崎県
二回戦 東京都 1-1 (季) 大阪府

成年男子

監督 平尾 泰
先鋒 阿部 壮己 (警視庁)
次鋒 星子 啓太 (警視庁)
中堅 畠中 宏輔 (警視庁)

副将 神崎 力 (西東京)
大将 新名 修一 (西東京)

二回戦 東京都 2-0 滋賀県
三回戦 東京都 3-1 秋田県
四回戦 東京都 1-1 (季) 千葉県

第五十一回全日本杖道大会

令和6年10月13日

於 京都府

初段の部

優秀賞 尾辻 瑞人
尾辻久美子

第五十九回全日本居合道大会

令和6年10月19日

於 東京都

出場選手

五段の部 木村 裕子
六段の部 滝澤 貴典
七段の部 吉田 真澄

第三十六回全国健康福祉祭

剣道交流大会

令和6年10月18~20日

於 鳥取県

Aチーム

監督 木村 友治
先鋒 仲 博史
次鋒 露木 幹也
中堅 宗 順一
副将 田中 正人
大将 木村 友治

Bチーム

監督 久松 好弘
先鋒 山本 修平
次鋒 星 君徳
中堅 栗原 正美
副将 藤井 栄
大将 久松 好弘

ABチームとも予選リーグで惜敗

第六十三回全日本女子剣道選手権大会

令和6年11月3日

於 東京都

優勝 近藤 美洸 (警視庁)



全日本女子選手権優勝 近藤選手

第七十二回全日本剣道選手権大会

令和6年11月3日

於 東京都

優勝 竹ノ内佑也 (警視庁)



全日本剣道選手権優勝 竹ノ内選手

第七十二回全国青年剣道大会

令和6年11月9日～10日

於 東京都



男子団体の部

板橋区

監督 深澤 陽平
 先鋒 深水 皓斗
 次鋒 加藤 恵輔
 中堅 深見 優太
 副将 山本 浩輔
 大将 浅香 匠

二回戦 東京都 3-0 兵庫県

三回戦 東京都 2-2 三重県

準決勝 東京都 1-3 岡山県

第三位

女子団体の部

青梅市

監督 清水 美佳
 先鋒 香月 美紅
 中堅 加藤 亜紀
 大将 青木 鈴佳

一回戦 東京都 1-0 三重県

二回戦 東京都 0-0 福岡県

女子個人の部

敢闘賞 加藤 亜紀

令和6年度全国高等学校剣道大会

東京都予選会

令和6年6月1日

於 東京武道館

男子の部

準々決勝

築場(足立学園) ー 宮原(郁文館)
 宮城(正則学園) ー 鈴木(東海大高輪台)
 垣井(東海大高輪台) ヲ 桑名(明大中野)
 森岡(正則学園) ー 澤野(明大中野)

準決勝

宮原(郁文館) ヲ 鈴木(東海大高輪台)
 垣井(東海大高輪台) ヲ 澤野(明大中野)
 決勝 宮原(郁文館) ヲ 澤野(明大中野)

女子の部

準々決勝

下川(日体大桜華) ー 中嶋(淑徳巣鴨)
 宇山(修徳) ー 伊東董(淑徳巣鴨)
 羽吹(駒澤大学) ー 大越(日体大桜華)
 伊東葵(淑徳巣鴨) ー 奥田(東海大菅生)

準決勝

中嶋(淑徳巣鴨) ー 伊東董(淑徳巣鴨)
 大越(日体大桜華) ト 奥田(東海大菅生)
 決勝 伊東董(淑徳巣鴨) ヲ 大越(日体大桜華)

令和6年度全国高等学校剣道大会

東京都予選会

令和6年6月22日

於 東京武道館

男子の部

ベスト16

足立学園 5-0 立正大立正
 杉並学院 0-4 明大中野
 東海大高輪台 2-2 攻玉社
 日大三 0-3 国士館
 正則学園 3-0 京華
 八王子東 0-3 駒澤大学
 八王子実践 0-4 國學院久我山
 上水 1-3 郁文館

準々決勝

足立学園 2-2 明大中野
 東海大高輪台 2-0 国士館
 正則学園 2-0 駒澤大学
 國學院久我山 0-3 郁文館

女子の部

ベスト16

淑徳巣鴨 5-0 城西大城西
 国分寺 0-5 桜美林
 深川 3-1 明星
 新渡戸文化 1-3 東海大菅生
 修徳 3-1 文大杉並
 晴海総合 0-3 駒澤大学

東海大高輪台 5-0 松が谷

駒場 1-4 日体大桜華

準々決勝

淑徳巣鴨 4-1 桜美林
 深川 0-2 東海大菅生
 修徳 2-1 駒澤大学
 東海大高輪台 2-1 日体大桜華

準決勝

淑徳巣鴨 3-2 東海大菅生
 修徳 2-0 東海大高輪台
 決勝 淑徳巣鴨 1-0 修徳

令和6年度東京都高等学校

秋季剣道大会

令和6年8月21日

於 武蔵の森総合スポーツプラザ

男子の部

I部

ベスト16

富士 2-3 國學院久我山
 東海大菅生 1-1 郁文館
 明大中野 2-1 日大三
 日大豊山 2-0 多摩工科
 東海大高輪台 3-1 桜美林
 八王子実践 0-5 国士館
 日体大荏原 2-3 城北
 足立学園 5-0 駒場東邦

準々決勝

國學院久我山 0-5 郁文館
 明大中野 3-1 日大豊山
 東海大高輪台 3-0 国士館
 城北 1-4 足立学園

準決勝

郁文館 0-0 明大中野
東海大高輪台 1-1(代) 足立学園

決勝

郁文館 2-1 足立学園

II部

ベスト16

杉並 0-3 府中西

赤羽北桜 1-2 朋優学院

國學院 1-1(代) 日大鶴ヶ丘

久留米西 1-3 早稲田

井草 4-1 二松学舎

専修大 3-2 東京

国分寺 2-3 東洋

文教大 2-1 翔陽

準々決勝

府中西 1-0 朋優学院

日大鶴ヶ丘 1-3 早稲田

井草 2-0 専修大

東洋 3-1 文教大

準決勝

府中西 2-3 早稲田

井草 2-1 東洋

早稲田 3-2 井草

女子の部

I部

ベスト16

文大杉並 3-1 日大一

新渡戸文化 2-1 晴海総合

松が谷 1-3 修徳

東海大菅生 1-1(代) 東海大高輪台

日体大桜華 4-0 上水

駒澤大学 3-2 学習院女子

広尾学園 1-3 淑徳巣鴨

日体大荏原 2-2(代) 光丘

準々決勝

文大杉並 0-2 新渡戸文化

修徳(代) 0-0 東海大高輪台

日体大桜華 1-2 駒澤大学

淑徳巣鴨 5-0 光丘

準決勝

新渡戸文化 2-0 修徳

駒澤大学 1-3 淑徳巣鴨

新渡戸文化 0-3 淑徳巣鴨

II部

ベスト16

国士館 2-3 中大杉並

玉川聖学院 3-1 調布北

淑徳 4-0 目黒日大

立川国際 3-1 北園

篠崎 3-1 昭大昭和

大妻 4-1 町田総合

全学園(平) 1-2 法政大学

大成 2-3 共立女子

準々決勝

中大杉並 2-3 玉川聖学院

淑徳(代) 2-2 立川国際

篠崎 3-1 大妻

法政大学 1-3 共立女子

準決勝

玉川聖学院 1-3 淑徳

篠崎 2-1 共立女子

決勝

淑徳 1-3 篠崎



第六十三回東京都中学校総合体育大会
兼東京都中学校剣道選手権大会
令和6年7月22・23日
於 東京都武道館

個人の部

男子の部

ベスト16

野村(関)メー 五十嵐(秋)多

竹田(足立学園)メー 榎木(三原台)

清水(郁文館)メー 川崎(立石)

山崎(秋)多 コー 高橋(東大和第四)

鎌田(東海大菅生)メー ド 榎田(国士館)

江田(東海大高輪台)メー 青田(郁文館)

松本(関)メー ド 真山(加賀)

小林(深川第二)メー コ 杉本(郁文館)

準々決勝

野村(関)コー 榎木(三原台)

川崎(立石)メー 山崎(秋)多

榎田(国士館)メー ド 青田(郁文館)

松本(関)メー 杉本(郁文館)

準決勝

野村(関)メー 山崎(秋)多

青田(郁文館)メー 松本(関)

決勝

野村(関)メー 青田(郁文館)

女子の部

ベスト16

村上(日体大桜華)コー 伊藤(東海大菅生)

山下(立石)メー ド 佐藤(淑徳巣鴨)

山下(日体大桜華)メー 大山(淑徳巣鴨)

井本(文大杉並)メー 川原(新渡戸文化)

堀(淑徳巣鴨)コー 藤林(深川第二)

渡邊(新渡戸文化)メー 昆野(日体大桜華)

大木(拜島)メー ド 元木(日体大桜華)

田口(千登世橋)メー 橋口(深川第二)

準々決勝

村上(日体大桜華)メー 佐藤(淑徳巣鴨)

大山(淑徳巣鴨)メー 井本(文大杉並)

堀(淑徳巣鴨)メー コ 渡邊(新渡戸文化)

元木(日体大桜華)メー ド 田口(千登世橋)

準決勝

佐藤(淑徳巣鴨)コー 大山(淑徳巣鴨)

渡邊(新渡戸文化)コー 田口(千登世橋)

決勝

佐藤(淑徳巣鴨)メー 渡邊(新渡戸文化)

団体の部

男子の部

ベスト16

郁文館 3-1 国分寺第三

多摩永山 2-2(季) 小平第四

三原台 3-1 高松

花小金井南 0-4 関

秋多 4-0 攻玉社

中野東 1-2 立石

青梅第一 0-1 神代

日大三 0-4 国士館

| | | | | | | |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 女子の部 ベスト16 | 準々決勝 | 準決勝 | 決勝 | 準々決勝 | 準決勝 | 決勝 |
| 淑徳巣鴨 4-0 上平井 | 淑徳巣鴨 1-2 慶應義塾 | 淑徳巣鴨 0-1 関 | 淑徳巣鴨 3-0 国士館 | 淑徳巣鴨 1-1 新渡戸文化 | 淑徳巣鴨 1-4 日体大桜華 | 淑徳巣鴨 3-0 日体大桜華 |
| 東葛西 1-2 慶應義塾 | 東葛西 3-2 足立第四 | 東葛西 0-3 国士館 | 東葛西 2-0 国士館 | 立石 0-1 新渡戸文化 | 立石 1-4 日体大桜華 | 立石 1-4 日体大桜華 |
| 横山 0-5 新渡戸文化 | 横山 5-0 蒲田 | 横山 0-5 立石 | 横山 2-0 国士館 | 立石 1-0 秋多 | 立石 1-0 秋多 | 立石 1-0 秋多 |
| 立石 5-0 蒲田 | 立石 0-3 秋多 | 立石 0-5 立石 | 立石 2-0 国士館 | 立石 1-0 秋多 | 立石 1-0 秋多 | 立石 1-0 秋多 |
| 東海大菅生 0-3 秋多 | 東海大菅生 3-0 瑞江第三 | 東海大菅生 0-3 秋多 | 東海大菅生 2-0 国士館 | 東海大菅生 0-1 日体大桜華 | 東海大菅生 0-1 日体大桜華 | 東海大菅生 0-1 日体大桜華 |
| 深川第二 3-0 瑞江第三 | 深川第二 0-5 日体大桜華 | 深川第二 0-5 立石 | 深川第二 0-3 国士館 | 深川第二 0-1 日体大桜華 | 深川第二 0-1 日体大桜華 | 深川第二 0-1 日体大桜華 |
| 鷗友学園 0-5 日体大桜華 | 鷗友学園 5-0 慶應義塾 | 鷗友学園 0-5 立石 | 鷗友学園 0-3 国士館 | 鷗友学園 0-1 新渡戸文化 | 鷗友学園 0-1 新渡戸文化 | 鷗友学園 0-1 新渡戸文化 |
| 準々決勝 | 準決勝 | 決勝 | 準々決勝 | 準決勝 | 決勝 | 準々決勝 |
| 淑徳巣鴨 5-0 慶應義塾 | 淑徳巣鴨 1-1 新渡戸文化 | 淑徳巣鴨 1-4 日体大桜華 | 淑徳巣鴨 3-0 日体大桜華 | 淑徳巣鴨 1-1 新渡戸文化 | 淑徳巣鴨 1-1 新渡戸文化 | 淑徳巣鴨 1-1 新渡戸文化 |
| 小平第一 0-1 新渡戸文化 | 小平第一 0-1 秋多 | 小平第一 1-4 日体大桜華 | 小平第一 0-1 日体大桜華 | 小平第一 0-1 秋多 | 小平第一 0-1 秋多 | 小平第一 0-1 秋多 |
| 立石 1-0 秋多 | 立石 1-0 秋多 | 立石 1-4 日体大桜華 | 立石 0-1 日体大桜華 | 立石 1-0 秋多 | 立石 1-0 秋多 | 立石 1-0 秋多 |
| 深川第二 0-1 日体大桜華 | 深川第二 0-1 日体大桜華 | 深川第二 0-1 日体大桜華 |

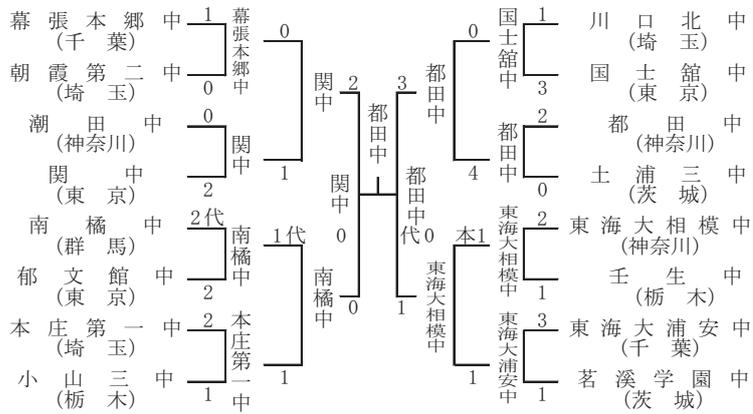
第四十九回関東中学校剣道大会

令和6年8月8・9日

茨城県

男子団体の部

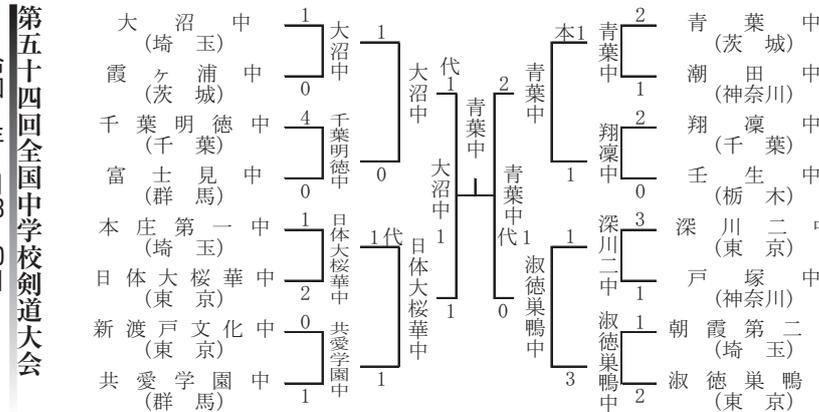
準優勝 練馬区立関中学校



女子団体の部

第三位 淑徳巣鴨中学校

日本体育大学桜華中学校



第五十四回全国中学校剣道大会

令和6年8月18~20日

新潟県

男子団体の部

第三位 練馬区立関中学校

| | | | |
|-------------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 第六十三回東京都中学校秋季剣道大会 | 男子の部 ベスト16 | 男子の部 ベスト16 | 女子の部 ベスト16 |
| 令和6年11月3日 | 東京武道館 | 東京武道館 | 新潟県 |
| 立石 4-1 足立第十一 | 立石 4-1 足立第十一 | 立石 4-1 足立第十一 | 立石 4-1 開進第三原台 |
| 立石 3-1 深川第二 | 立石 3-1 深川第二 | 立石 3-1 深川第二 | 立石 3-1 秋多 |
| 立石 3-1 府中第六 | 立石 3-1 府中第六 | 立石 3-1 府中第六 | 立石 3-1 小平第一 |
| 立石 0-4 秋多 | 立石 0-4 秋多 | 立石 0-4 秋多 | 立石 0-5 立石 |
| 立石 2-1 立石 | 立石 2-1 立石 | 立石 2-1 立石 | 立石 2-2 立石 |
| 立石 3-1 立石 | 立石 3-1 立石 | 立石 3-1 立石 | 立石 5-0 立石 |
| 立石 3-1 立石 | 立石 3-1 立石 | 立石 3-1 立石 | 立石 2-2 立石 |
| 立石 0-5 立石 | 立石 0-5 立石 | 立石 0-5 立石 | 立石 1-4 立石 |
| 立石 1-4 立石 | 立石 1-4 立石 | 立石 1-4 立石 | 立石 1-4 立石 |

學院久我山 0-2 日体大桜華
準々決勝

淑徳巣鴨 4-1 秋 多

小平第一 1-2 立 石

新渡戸文化 3-0 東葛 西

桜美林 0-2 日体大桜華

準決勝

淑徳巣鴨 4-0 立 石

新渡戸文化 1-2 日体大桜華

決勝

淑徳巣鴨 1-0 日体大桜華

全日本剣道連盟剣道功労賞



佐藤 征夫
80歳 (千代田)

全日本剣道連盟剣道有功賞
東剣連が推薦した次の先生方が
受賞されました。(順不同・敬称
略)

鎌田敏夫 (中央) 80歳
藤野圭江 (世田谷) 81歳
安部優 (北) 84歳
目黒秀治 (西東京) 74歳



前列左から目黒氏、藤野氏、安部氏、鎌田氏
後列左から久保木副会長兼専務理事、千葉会長、太田副会長

少年剣道教育奨励賞
東剣連が推薦した次の団体が受
賞されました。(順不同・敬称略)

窪町剣道クラブ (文京)
葛飾少年剣友会 (葛飾)
東金町剣道クラブ (葛飾)
西亀有剣友会 (葛飾)
扇道教室 (足立)
東測江剣友会 (足立)
東京烏山剣友会 (世田谷)
高島平剣仁会 (板橋)
小茂根剣友会 (板橋)
北秋津剣友会 (西東京)
東大和市剣道連盟 (西東京)
剣柳会 (西東京)



星子啓太講師指導風景

南白小剣道サークル (西東京)
元木剣友会 (西東京)
北辰館遠藤道場 (西東京)
東青梅剣道教室 (西東京)
玉川警察署少年柔剣道クラブ (警視庁)
世田谷警察署少年柔剣道若葉会 (警視庁)
竹の塚警察署少年剣道会 (警視庁)
葛西警察署少年剣道部 (警視庁)
三鷹警察署少年剣道部 (警視庁)
向島警察署少年剣道部 (警視庁)
福生警察署少年剣道部 (警視庁)
大井警察署少年剣道部 (警視庁)
第六機動隊少年剣道部 (警視庁)
小金井警察署少年剣道部 (警視庁)

東京都ジュニア選手・育成強化事業剣道基本教室

令和6年8月7日

於 東京武道館



(左から) 矢野貴之講師、宮本敬太講師、竹ノ内佑也講師指導風景

称号・六段以上合格者

■ 剣道八段 (8月11日於愛知県)

住友健司

58歳
職業 特別支援教育指導員
出身地 徳島県



座右の銘「初心不可忘」

矢吹裕二

54歳
職業 警察官
出身地 福島県



座右の銘「徹心化骨」

■ 剣道八段 (11月26日於東京都)

時田文雄

67歳
職業 団体職員
出身地 東京都



座右の銘「百錬自得」

中原 泉

48歳
職業 自衛官
出身地 山口県



座右の銘「克己」

■ 居合道八段 (12月1日於東京都)

池田敏克

55歳
職業 会社員
出身地 茨城県



座右の銘「引きの心と七癖」

■ 居合道七段 (6月28日於福岡県)

葛西正昭・高平とよ子・片貝悟

居合道六段 (6月28日於福岡県)
三幣晃裕・服部麻子・マクレーン
エドワード

杖道六段 (8月23日於広島県)
角田知明・山崎潤・チエルノフミ
ハイル

■ 剣道七段 (8月24日於宮城県)

【千代田】岩瀬貴洋・平山知雄
【台東】柴田良紀【墨田】橋本敏
純【葛飾】水流正人【足立】島田
美幸【新宿】円谷和正・石田貴
【中野】四戸康雄【杉並】平川志
朗【渋谷】迫田和良【世田谷】鈴
木盛史【港】相澤剛【目黒】勝村
信介【大田】浦松雅史・佐藤富彦
【板橋】清水好一【練馬】重松公・
齊藤一彦【西東京】福泉正人・木
下武男・佐藤優・James Parker・
藤原磨里・岡田智治【警視庁】杉
本裕基・松井康弘・坂本真亮・森
下景・平野大輔・中川修・工藤智
広・尾崎茂【自衛隊】杉本和明
【消防庁】田鍋憲一【学連剣】野
田知宏・荻野将夫・矢野剛【交通
局】平山康【高体連】小田金実平

■ 剣道六段 (8月25日於宮城県)

【千代田】亀ヶ谷昌秀【文京】森
武文【江東】友國隼介【江戸川】
庄司進・大江剛【中野】白井貴
之・本谷春洋・田中憲雄【杉並】
植尾仁美【渋谷】浅岡基靖・坂祥
士郎・白滝文良【世田谷】高梨
智若・麻生忠利【港】Aleksandr
SEMIENOV・後藤友見子【目黒】

両角慶子【大田】細井元【北】牛
尾しげ美・鈴木善明【板橋】伊藤
吉春・加藤直二【練馬】青木比沙
子・伊藤剛史・湯本清人【西東
京】蒲山貴士・早川順治・白旗香
織・田中澄江・村山剛史・井上留
美【警視庁】山田航・島田安晴・
吉田智衛・野口和夫【法務】猪瀬
肇【自衛隊】松浦秀俊【高体連】
玉岡篤人・高橋久

■ 剣道七段 (9月1日於福岡県)

【千代田】佐藤倫太郎・吉田達哉
【墨田】西澤秀一【学連剣】奥園
哲行・小川岳生

■ 剣道六段 (8月31日於福岡県)

【学連剣】古垣淑朗

■ 剣道錬士 (11月26日於東京都)

【千代田】石井将勝・石塚一夫
【中央】森田修・金子拓弥・河本
稔【墨田】植田竜也【江戸川】別
當有子【足立】倉田一慶・副嶋正
博・平野裕一【新宿】松崎織江・
桑原聖・大橋啓吾・西屋吉章・城
所敏英・黒川恵【中野】佐々木夢
路【杉並】葛生健二【渋谷】眞鍋
悠・齋藤勉【世田谷】前嶋信吾・
山田宗一【港】田北博司【品川】
橋本健【目黒】松谷忠興・茂木秀
之【大田】高橋浩司・豊田勇【北
橋】児玉修平・服部博史【練馬】
佐藤正和・糸井純一・馬來善行・
渡邊智子・栗山紀子【西東京】谷
光誠道・永野富郎・杉野仁司・竹

崎祐二・稲見直子・田代学・山口
康晴・鎌田由美子・榎本春久【警
視庁】竹島大志郎・半田真也・木
谷宗利・宮崎正明・窪田文昭・今
井次男【皇宮】久保田直人【法務】
村瀬達也・坂本優・内村直登・清
水則秀【自衛隊】田中省吾・伊代
野美奈子・加藤潤一【学連剣】上
原祐二・市川太郎・山口昇

■ 剣道教士 (11月26日於東京都)

【千代田】林俊宏・吉野麦・伊東
正晴・横松威尚【文京】濱村恵
【墨田】石島章行【江東】尾辻瑞
人【葛飾】山崎一男【新宿】水野
正太郎・原万理【中野】麻生隆・
石井能成【杉並】谷原和憲・安部
弘樹【世田谷】志村勝美・中野雅
一・久松義則【港】加藤健・徳永
剛【品川】篠原典男・中野英一郎
【目黒】荒木徳明【大田】大山恵
理【北】佐伯保治【荒川】米田富
子【板橋】永井快昌・大野隆信・
佐口利克・西尾修【練馬】福山仁
宏・林屋一則・及川政彦【西東
京】日笠匡・小笠原四郎・實方善
彦・石松武彦・濱中明代・吉永哲
男・伊藤正巳・片之坂和洋・星野
友則・嶽友幸一・小野勝徳・中沢
紀子・井上智明・石曾根浩明・齋
藤秀夫【警視庁】谷賢一郎・中嶋
武司・内田敬之・正代小百合・高
山智実・山本智晴・佐藤隆・松沢
辰彦【交通局】武田真一・飯塚純
【学連剣】原幸一

居合道錬士(11月26日於東京都)
川上良次・石川壽・清水利行・阪井昭信・西野稔・一宮竜太

居合道教士(11月26日於東京都)
成田竜一郎・堀克明・土屋知子・須田将司・佐々木悟・福見健治・柳徹・堀内玲子

杖道錬士(11月26日於東京都)
日高昭仁

杖道教士(11月26日於東京都)
永井祥宏

剣道七段(11月9日於愛知県)
【文京】田村洋平【新宿】渡邊健司【中野】石川俊之【豊島】伊藤拓宏【法務】宗村和哉

剣道六段(11月10日於愛知県)
【千代田】小泉英晃・宮島智訓【江東】落司将道【江戸川】山添晋也【中野】品川達郎【大田】外花延章【西東京】田部井新介【警視庁】大江一匡・菅原慎一【皇宮】山田慎一【学連剣】菊池隆志

剣道六段(11月14日於東京都)
【千代田】山本修平・上田幸平【中央】山下典子・関口和貴【文京】相原匡雄【墨田】志村卓哉【江東】下川智之・宮原裕久・保坂文博【葛飾】藤本翼・星谷知朗・長尾堅太郎・大野博一【江戸川】澤駿介・浅野博文・渡辺芳則・小島勝利【足立】青山碧・小池拓哉・昆

野明広・斉藤弘美【中野】波多野圭佑・佐藤光成・山際雄介【杉並】奥澤和也【渋谷】齊藤将吾・工藤優介・野村浩慎・大村泰啓【世田谷】加藤慶之・宮崎太志・樋口健治・瀬島大輔・加藤久幸・瀧野浩

【港】阿野俊英【品川】菊地祥文【目黒】南原啓太・米田憲司【大田】渡辺圭造・白鳥力・小林敏久【北】大林一貴・並木務・間彦滋夫【板橋】浅香匠・加藤哲生・設楽紀代乃・松岡伸治【練馬】伊藤

眞太郎・吉村圭一【西東京】波多野佳一・秋保達也・中村弦樹・山崎賢人・金田大成・加藤誠・工藤牙子・鎌田聡介・飯濱弘紹・榎戸政樹・伊藤洋佑・濱井崇・大谷陽子・辻一朗・高橋寿成・波多野仁志・中山友仁・田中重琉伝・日高康弘・生方照胤・山田清徹・犬塚忠志・清永信朗・矢野隆幸・金子守・上永吉剛志・高橋宏毅・赤座

孝明・木村優香・祝迫優子・早藤浩美・西山一良・井上康仁・星野靖彦・三浦孝光・野沢繁則・土淵眞佐子・松尾和成・内野清・岡稔・和田幸夫・人見誠一・沖倉政留・山田八千代【警視庁】小林大輝・古屋佑樹・大澤佳祐・阿部孝弘・高岡亮佑・墓壮嗣・柳村勇一・牛坂貴陽・新坂綾香・渡邊美月・須貝哲成・笹谷雄輔・本田圭・石橋幸太・坂本一生・田熊順一・古賀達也・小澤康人・眞鳥和也・佐藤美喜雄・虻川誉・伊藤彰浩【皇宮】渡瀬勝【法務】池田愛・小林侑一郎・岡崎克彦【自衛隊】中原智美・谷嶋正仁【消防庁】鶴田竜一

朗・中村匡応・草間友貴・嶋崎知佳・長谷川忠章【交通局】上原征二【学連剣】黒川孝【高体連】高木政樹・博田勝志

居合道七段(11月30日於東京都)
諏訪山玲似子・畠中了・三好勝・鬼頭平三

居合道六段(11月30日於東京都)
岡本真一・田嶋久和・佐藤大八・森口玉基・平田泰生

居合道四・五段審査会
(9月28日於東京武道館)

五段合格者
中谷智・近藤恭一・河村実希子・大島玲子・飯田英輔・ヴィマラワルナキシャン・我妻健人・橋本亮子・森谷宜幸・桂良輔・井上隆・福田勝己・田島道治・小坂義信

四段合格者
濱崎和真・江崎愛文・川口空・中村昌暉・渡辺裕・石川麻友・櫻井絵理・植木翔平・ロイイヴォ・GRUSHNIKOV ANDREY・西田拓也・DEVYATYKHEKATERINA・仲山有美・吉原路貴・北川敬司・坂井伸次・常盤公德・林正己・山田稔・板垣賢司・杉本仁・金田豊正・斉藤満・伊藤方子

【千代田】西牧克郎・中屋裕一郎【中央】近藤俊平・山科三郎【文京】大橋章太郎【墨田】田中潤一郎・西田道廣【江戸川】星德継・小林和子【足立】大澤基広・松田紀男・生込勉【中野】澤井かおり・鈴木嘉徳・桑原千佳子【杉並】永田敬生【渋谷】高橋昌孝・伊藤正朗・十川存夫【世田谷】杉能信介・小村芳明・市川浩【港】柳井達朗・秋山武彦【目黒】満田暁史・中西哲也【大田】稲葉恭久【豊島】高嶋之浩【板橋】根本真仁・湯田英樹・上西甚蔵・浅井達男【練馬】齋藤皇紀・岡田守弘【西東京】塩幡勝典・星野千恵・笛田賢一・竹下貴雄・川原英実・小野江利子・中藤伸弥・戸枝奈々美・金子一葉・小川永祐・瀬ノ口敏樹・福島利治・林ゆり・岡部錬一・濱田真一・戸部康二・古坂利治・林洋子・小川三男・姥貝荘一・高橋博三・阿久津七郎【警視庁】西川誠・金井佑太・河内和也・早坂勇生・近孝之輔・神井司・加藤敏道・中野武志・石川和男・後藤有毅・櫻井浩昭・福田秀徳・遠藤裕規【皇宮】青木孝憲【法務】内藤友和【自衛隊】大尾敏宏【消防庁】高橋致崇・七里守彦【学連剣】桜木哲太郎【高体連】竹内裕貴

【もう】息の受審者】
五 段
8 24 30 31 32 36 40 44 51 53
四 段
1 11 12 20 24 26 36 37

杖道四・五段審査会

(10月26日於東京武道館)

五段合格者

我妻健人・大澤奈美・四方新太郎・扇谷公貴・佐々木章成・渡来隆幸・森脇雅人・小林美雄・川北進一郎

四段合格者

落合剛・石濱和哉・川邊正太郎・永川榮泰・根ヶ山泰史・富岡恵・佛井理恵・石橋陽平・森下健一郎・稲田和幸・齊藤敦史・渡辺一裕・木下明彦

「もう」息の受審者

3 4 16 19

四段

2 22 23 27 28

剣道四・五段審査会

(11月30日於東京武道館)

五段合格者

【千代田】吉岡菜那・間々田実周・永野喜代彦【中央】岩部真佳・川良渉・山田圭祐・大野竜之介【台東】笹原幸宏【文京】井祐樹・本莊忠男【墨田】菊池誠之【江東】金子穂波・澤田完・阿部愛子【葛飾】樽見哲哉【江戸川】小笠原雄大・早坂寿浩【足立】山田一樹・山本清三郎【新宿】石田太一【中野】中澤富見【杉並】千野峻暉・松下蒨・大久保勝・真下智好・佐藤真紀・塩入幸子【渋谷】瀧嶋麻規子・黒木未優・外山大樹・伊藤有希・本多元士・罇尚子・松木一永・李彦慶・柏瀬健有【世田谷】岩崎蓮・黒木裕二郎・西麻由子・谷口稔【港】岩切俊彦【品川】館優太・小田達也【大田】中林宏文・芳賀幸生【豊島】奥谷菜子・工藤悠馬・津畑達哉【北】吉田洋輝・檜山一美【荒川】竹村吉見【板橋】佐藤典和【練馬】園原直樹【西東京】長野和生・山相海翔・遠藤良太・中澤志音・大野恵太・喜多村美宏・金子希夢・齊藤玲奈・越原佑美・波多野洋介・藤野哲太郎・戸崎宜和・齋藤純矢・水谷忠宣・川村知之・勝矢直樹・横田美穂・高橋初枝【警視庁】阿部壮己・下青木大誠・森三朗・椋梨昂竜・尾方祐・渡邊拓朗・和田大樹・小川達史【法務】小原木健悟【自衛隊】筒井達也・水山結加・加山真琴・宮上英征・神垣和仁【学連剣】佐藤公信

剣道四段合格者

【千代田】田中秀幸【中央】吉田梨花子・幾田智洋【台東】横山祥史・宇都山智幸・竹之内秀司朗【文京】松木大空・前田芳子・河村優月・細野修司・野沢峻一・川嶋秀明【江東】石川秀彰・大石悠太・吉澤利樹【葛飾】角直樹・古賀啓一・阿部貴広・土信田大輔・矢島孝行【江戸川】佐々木瞳・中嶋諒・阿形恭兵・嶋田洋平【足立】久保陽・福地悠希・沢辺敦志【新

宿】鈴木仁那・有竹輝浩・立花慎吾【杉並】内山陽介・菅原文嗣・本間真之介・志水将児・池山大輔・小林良子・丹下能嘉【渋谷】瀨口ゆいか・江口貴美・佐々木浩平・伊藤順一【世田谷】安藤遼哉・森川大河・長堀光太郎・岩見伊織・折原純・名和成明【港】手計憲人・大竹野学・深見恵子・石野完也【品川】金子雅俊・首藤秀規【目黒】末吉美結・河合春樹【大田】大根田悠登・渡邊宏太郎・横野公至郎・秋山謙作・林涼子・五味伸二・藤原志津・小野尚治・斎木謙三【豊島】成本亮・森川和晃【北内田智】鈴木実【荒川】程塚啓太郎・伊藤潤【板橋】太田和子・黒後公士朗・山本明日香・吉田昌弘・河津琢【練馬】山賀涼平・大野真太郎・中村貴裕・笹林哲也・遠藤結美子・武石哲之輔【西東京】松本優那・和崎康正・嶋崎和馬・橋口日向奈・田村隆馬・大木泰成・川鍋幸太郎・望月誠人・清水周・坂田千夏・小林賢次郎・半田夏音・渡邊駿介・立山開・中西徹人・佐藤真奈実・芝垣宏俊・馬夷成・楠木はるか・佐保田純・新家史隆・藤田麻衣子・渡邊仁康・吉野敦雄・田原勝之・溝口知弘・関谷雄介・湧井浩二・高橋孝治・永島由之・宇都宮僚介・小島慎司・岩本わかな・久子美幸・河合幸・長野光史・石井廣子・中村哲之・柳澤洋司【警視庁】久保理駆・高山雅生・田代大貴・古川武士【法務】小野洋介【自衛隊】木村政彦・青柳慧音・熊上航琉・青木秀・河

内祐介・渡邊辰巳【学連剣】高岡暁【学生ク】大熊惟吹・奥井亨陽・二之宮宏紀・頼所一惺・馬場勇次朗・秋庭佑有・諸岡暖乃・佐藤秀基・前田結祇・小山真央・高木雅哉・畠山遼心・横井嘉弥乃・岡田友晟・宇山采花・藤井聖也・樋口隆太郎・安藤祐次郎・臼井悠真・松林和歌・平山晴喜・岡部混立・中臺潤希・伊藤碧斗・清水満里菜・稲村和也・木村虎童・北幸之助・佐藤涼奈・佐藤晟一郎・湯浅恒輝・土手健汰・栗原輝・岡田旭陽・小野秀太・村上遼・三上慶・澤井臨菜・菅原尚央・河合新之助・多並明音・山本史彬・吉田優真【高体連】安田恵竜【スイス】SEBASTIANSTOCKLI

「もう」息の受審者

五段

6 16 36 38 48 49 55 65 68 72 77 97 108 134 136

四段

137 170 171 175 178 202 204 326 338 339 361 367 368 375 389
3 5 8 12 14 22 23 25 25 36 37 53 59 77 85
292 124 129 174 213 216 223 229 236 244 257 259 261 277 280
551 301 418 420 433 448 449 465 472 481 492 518 530 542 545
553 418 420 433 448 449 465 472 481 492 518 530 542 545
554



喫煙・飲酒とがん

塚原 清彰

1. はじめに

剣道を楽しむために避けたいのが怪我と病気です。病気には様々ありますが、老衰を除くと、悪性新生物・心臓疾患・脳血管疾患（脳出血や脳梗塞など）が日本人の3大死因となります。第3回目のテーマは悪性新生物の代表である「がん」についてです。

2. がんはなぜできるのか

体の中では遺伝子の設計図に基づいて細胞のコピーが行われています（図1）。でも、私達が手で書類を写すと「書き間違い」が起きるように、細胞レベルでもコピー間違い（遺伝子変異）が起きます。ただ、人の体はうまくできていて、コピー間違いを見張り、修復・排除してくれる遺伝子（がん抑制遺伝子など）もあります。職場で優秀な仲間が「書類の書き間違いを見守ってくれている」状況です。実は私達の体内では日々がん細胞が生まれていますが、見張りが駆逐してくれているのです。残念ながら見張りをすり抜けてしまうと臨床的に「がん」が発症してしまいます。がん抑制遺伝子などには個人差があります。そのため、同じような喫煙・飲酒行動をしていても、がんになる・ならないという違いが生まれます。

3. がん危険因子の喫煙・飲酒

慢性炎症が発がんに関係しています。仕事量が増えると「書き間違い」が起きやすくなるように、慢性炎症で細胞の仕事が増えるとがん細胞が生まれやすくなります。そして、がん危険因子の代表は喫煙と飲酒です。「稽古後のリラクセスで、まず一服」という光景を目にしますが、タバコの煙には約70種類の発がん性物質が含まれています。これらが煙を通して遺伝子変異を引き起こします。また、喫煙当事者以外にも、副流煙を吸いますので（受動喫煙）、発がんの危険にさらされることとなります。なお、加熱式タバコにも多くの有害物質が含まれています。喫煙は頭頸部がん（舌、咽喉頭など）、

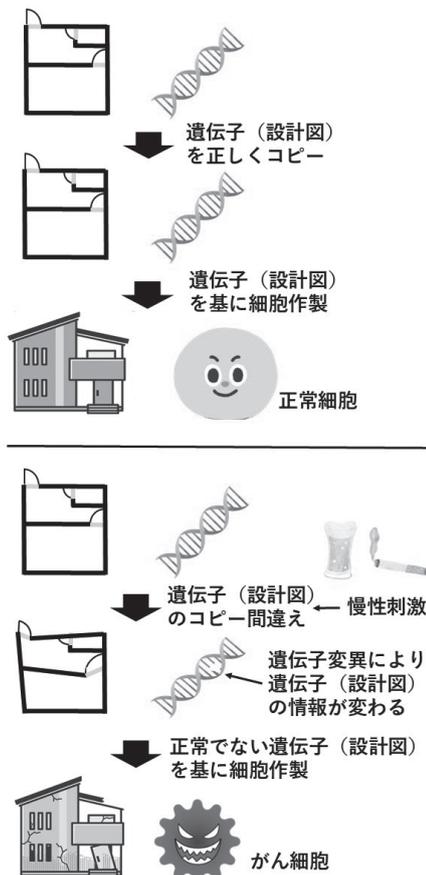


図1 正常細胞とがん細胞の発生する仕組みの違い

※概要を分かりやすく説明しています。

全てのがん細胞発生過程に当てはまるわけではありません。

食道がん、肺がん、胃がん、肝臓がん、膵臓がん、子宮頸がん、膀胱がんと関係しています。一般社団法人日本癌学会では、喫煙関連団体から助成を受けている場合、入会や日本癌学会での論文や学会発表を認めない規則となっています。

飲酒は頭頸部がん、食道がん、肝臓がん、大腸がん、乳がんの危険因子です。そして、飲酒による発がんには、本稿第2回の主役であった「アセトアルデヒド」が関係しています。短期的には「がん」の原因となります。また、飲酒で顔が赤くなり易い方は、そうでない方に比べてアセトアルデヒドが体内にある時間が長くなります。そのため、顔を赤くしながら長い時間お酒を飲んでいる方は発がんの危険性が上がります。喫煙・飲酒以外にも様々ながん危険因子があります。特に感染は日本人における発がん原因の約20%を占めます。ヒトパピローマウイルスと中咽頭がん・子宮頸がん、ヘリコバクターピロリと胃がん、エプスタインバーウイルスと上咽頭がん・悪性リンパ腫などです。ウイルスによってはワクチンで発がんを予防することが可能なため、注目されています。

4. 早期がんの多くは無症状

がんになった時にどんな症状が出ると思えますか。がんは怖い病気だから、痛み・出血・咳などの激しい症状がすぐに出ると考えてしまうかもしれません。実際、外来で「がんです」と告知すると、「こんなに元気なのだから、そんなはずがない」とおっしゃります。しかし、これは間違いです。早期がんの多くは「無症状」で（図2左上）、進行すると周囲組織などに影響が出てきます。言い換えると、痛み・出血・食べにくさ・咳などが出現してきた時点では「進行がん」となっていることが少なくありません（図2左下）。早期がん

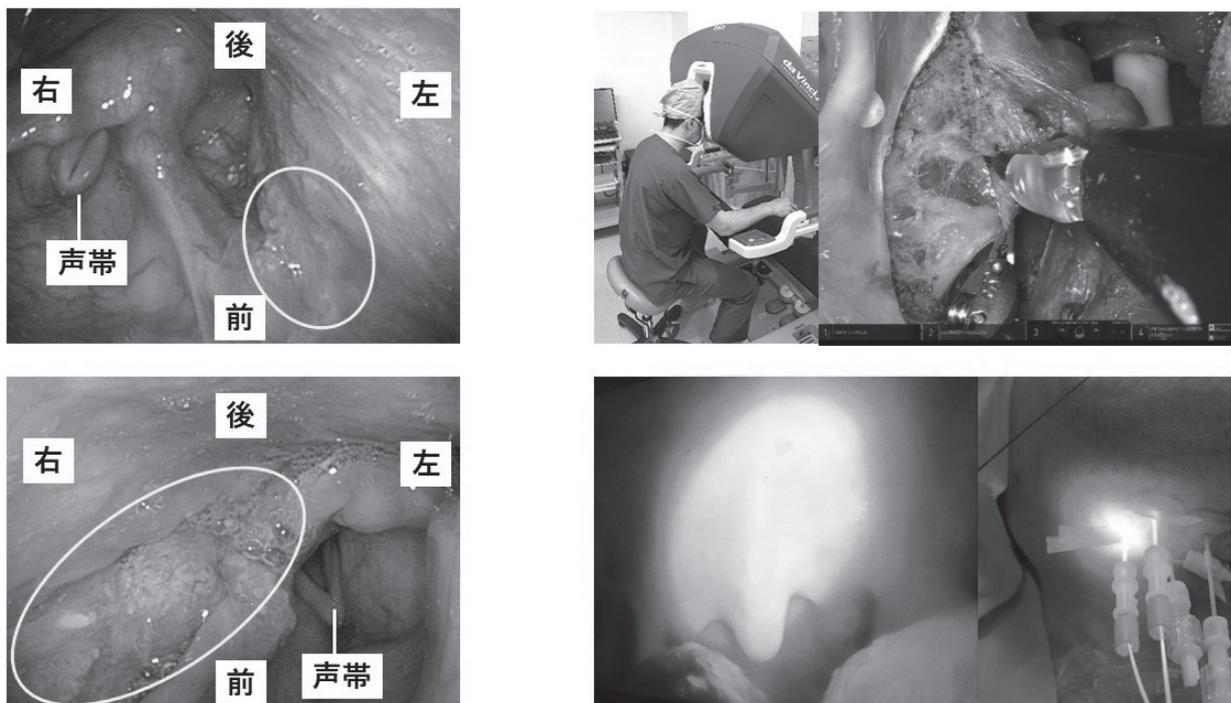


図2 がんの所見と治療

左上: 早期下咽頭がん(白丸)。自覚症状なく、検診の上部消化管内視鏡で発見された。内視鏡手術で根治可能であった。

左下: 進行下咽頭がん(白丸)。頸の腫れ、飲み込み難さで発見された。根治治療は声帯含めて切除する手術となった。

右上: 中咽頭がんに対するロボット手術。高解像度3D画像を見ながら、術者は離れた位置から手術を行う。

右下: 光免疫療法。色素IR700と赤色光の光化学反応によりがん細胞を破裂させる。

を見つける方法はがん検診ですが、検診方法に注意が必要です。バリウム、レントゲンなど昭和から行われている方法は粘膜のみにとどまるような早期がんの発見に向いていません。昭和のブラウン管テレビ・黒電話と、令和の8Kテレビ・携帯電話の違いを想像してください。早期がんの発見にはフルハイビジョン内視鏡（胃や大腸カメラ）、CTが有利です。

5. がん治療の進化

がん治療の柱は手術・放射線療法・薬物療法で、最近ではこれに免疫療法が加わりました。お腹や頸を切る手術は現在も進行がん治療で重要な役割をもっています。一方、早期がんを中心に、ロボットを含む内視鏡治療が存在感を増しています。令和のテレビは自分の眼より綺麗に見えますが、ロボット手術では高解像度3D画像を見ながら、低侵襲（体に負担の少ない治療）で行うことができます（図2右上）。入院期間や回復時間も短くなりました。放射線治療も複雑なプログラムを行う強度変調放射線治療で有害事象を抑えることができるようになっていきます。重粒子線治療・陽子線治療は悪性黒色腫など、通常の放射線治療で効果が少なかった様々な疾患の治療成績を上げています。薬物療法ではいわゆる抗がん剤に加えて、ピンポイントでがんを攻撃する分子標的薬も標準化しています。ノーベル賞で有名になった免疫チェックポイント阻害薬（オプジーボなど）は患者さん自身の免疫力でがんを治す体内環境を作る治療で、有害事象が少なく、2015年頃であれば余命1年と言われたであろう患者さんに長期生存の可能性をつないでいます。光免疫療法では切除不能頭頸部がんに対して細胞レベルでの低侵襲治療を行います（図2右下）。がん治療の進化はまさに日進月歩で、私のようながん治療の最前線にいる専門医ですら、油断するとおいて行かれる

ほど急速です。

6. おわりに

3回の連載で「気」に関連して「声」「体」と因果関係のある「喫煙・飲酒とがん」についてお話しさせていただきました。皆様が元氣な声で稽古をして、第二道場の潤滑油として適度のお酒を飲み、がんの早期発見で健康を維持しながら、長く剣道人生を楽しんでいただけることを願っています。最後に、電子タバコ含め、喫煙だけは令和時代の現役医師としてお勧めできませんのでご留意ください。

プロフィール

氏名 つかはら きよあき
年齢 50歳
出身地 埼玉県
出身学校 東京医科大学
経歴 平成10年 東京医科大学卒業
平成14年 東京医科大学大学院入学
医学博士
平成16年 癌研附属病院 頭頸科
平成17年 がん研有明病院 頭頸科（名称変更）
平成20年 東京医科大学八王子医療センター
耳鼻咽喉科頭頸部外科
平成27年8月 東京医科大学耳鼻咽喉科学分野
主任教授

平成28年7月 東京医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学
分野（組織変更）主任教授
現在に至る

剣道
座右の銘

錬士六段
恩を売らず報いを求めず

居合道部会活動報告

居合道部会

会長 伊藤 繁男

令和6年度上半期（4月～9月）の活動は次のとおりです。

*居合道部会として

- ・第60回東京都居合道大会、第31回東京都女子居合道大会
- ・三段以下審査会、級位審査会
- ・伝達講習会、審判および実技講習会、女子審判講習会
- ・指導者講習会、登録審査員研修会、六・七段受審者講習会
- ・スマイルスポーツ（東京武道館）広域合同稽古会への講師派遣
- ・地区単位で開催される講習会への講師派遣

*居合道部会主管として

- ・四・五段審査会（東京武道館）
- ・全日本居合道大会東京都代表選考会（東京武道館）
- *全日本剣道連盟行事への参加
- ・第120回全日本剣道演武大会（京都府）
- ・第51回中央講習会・地区講習会（宮城県）
- ・八段審査会（京都府）、六・

七段審査会（福岡県）
*他県開催大会への参加

- ・第61回全国居合道高知大会（高知県・4月）
 - ・第48回各流選抜東北日本居合道大会（新潟県・5月）
 - ・第17回全国各流居合道さくらんぼ大会（山形県・6月）
- 今年度初めての試みは、『二級審査会』の新設です。小、中、高校生普及対策の一環として、要望に沿うかたちで実施しました。

令和5年より関東甲信越一都九県まで参加者の枠を広げた『東京都女子居合道大会』は、今回、事前に実施する『女子審判講習会』の参加者を他県まで広げることに、審判員同士の所作や意思確認と親睦ができ、成功裡に開催する事ができました。以上を、令和6年度上半期の活動報告といたします。



東京都女子居合道大会

夫婦でつかんだメダル

―杖道を始めました

杖道部会

尾辻瑞人・尾辻久美子

令和5年3月、日本武道館武道学園を妻が見学。杖道は必要なのが杖・木刀・道着と始めやすく、膝にも優しく、長く続けられると始めました。一方、私は地元で剣道をしていたので、妻の審査前に自宅稽古で打太刀を務めました。現代剣道とは違うストリー性のある形武道に興味を持ち、半年遅れで杖道を始めました（この差は大きく、頭が上がりません）。

武道学園では基本を大切に、また打ち込み稽古で動きを体に覚えさせます。一方、私は武道学園の卒業生が多数在籍する東京都日経杖道会で稽古を始めました。長年研鑽を積んだ先生方による指導です。剣道、居合道も合わせて稽古を積む方も多く、交剣知愛ならぬ交杖知愛、人の輪が広がることを実感しました。4月からは私も武道学園への入学許可が出て、稽古量倍増しました。

令和5年の全日本で、昨年の京都開催を知りました。京都武徳殿は武道をする者にとって憧れます。初段の期間は短く1回

しか挑戦できません。前年度の都大会にて初段優勝したペアを身近な稽古で見て、近づけるよう研究もしました。大事なこととして心に留めたのは、合同稽古会の力武講師のお言葉「審査・試合・講習会には杖・太刀を磨き、綺麗な道着・袴で臨みなさい」「形は他者からみられるもので、自己満足で終わらないように」です。体に合った袴と白い杖を準備し、大会に臨みました。

40年以上前、「大学合格の秘訣は運と度胸と根性」という友人の言葉を思い出します。運を縁に置き換えて、人の縁に導かれて「度胸と根性」ねばり」で頂いたのが、都大会・全日本のメダルでした。私達が杖道に巡り会え、素晴らしい先生に出会い、先輩達に導かれ、勝ち抜くことができたことに感謝しています。もう一つ先生から杖道は同段位、同レベルで稽古を続け、ペアで成長するもののお言葉もいただきました。妻と二人で一緒に成長していきたいと思います。



第51回全日本杖道大会

支部活動報告

行政と共に

葛飾区剣道連盟会長

伊垣 誠

剣道人口減少は底打ちしたものの、新型コロナウイルス感染拡大前に戻るには程遠い状況の中、地域社会を巻き込んで「葛飾区長杯争奪全国選抜少年少女剣道大会」を開催しました。毎日新聞デジタルで大会模様を全国に配信し、リアルタイムで全試合をスマホで観戦できるようにしました。また、審判は全て警視庁の先生にお願いしました。その



伊垣会長



葛飾区長杯開会式

反響は大きく、ハワイや台湾から参加問合せが来るほどです。そして、来年は「東京旗」のタイトルを葛飾区長杯の前に付け参加チームを100チームから140チームに増やす予定です。

当連盟は「和をもって尊し」の「和」を旗頭にしていて「誰でも 何処でも 何時でも スポーツを楽しめる町」をスローガンにしている青木区長と相まって、行政から多大な協力をいただいています。

葛飾区主催で葛飾区剣道連盟主管のジュニアエンジョイ大会とシニアエンジョイ大会を別々に開催していましたが、同日開催にしたところ参加人数が増え大会がより盛り上がりました。人的にも財政的にも負担が軽減されました。

女性剣士を増やすために剣道エクササイズを大会の準備運動に取り入れています。付き添いのお母さん方も楽しそうに準備運動していますが竹刀を持つまではないいけません。もう一工夫必要と思います。

中学校部活の地域クラブへの移行問題は一向に具体化せず、剣道を指導できる教員が区内にいないため、剣道部のある中学校が減り、自ずと中学剣士が減ってしまい、頭の痛いところですが、教育長は移行期だと言いますが、中学生の今は一生に一度しかないことに行政は思いを馳せ、真剣に取り組んでほしいと働きかけているところです。

葛飾区剣道連盟は、東剣連の

意向を踏まえ剣道の普及発展に今後とも尽力してまいりたい所存です。(写真は毎日新聞社提供)

新体制での活動

中野区剣道連盟事務局長

今増 雅己

中野区剣道連盟は令和5年度総会において役員の改選を行い新会長に中村福義を、新理事長に梶井好文を選出しました。この新体制の下、会長からの提案により少年剣道の普及と剣道人口の増加を目的として、令和5年7月より普及委員会を作り、検討を重ね、新規事業として東京都道場連盟と共催で令和6年1月に「中野区剣道フェスティバル」を開催しました。午前中は、剣道をはじめたばかりの少年少女から中学生までが参加できる基本試合と、面をつけて稽古のできる小学生以上と中学生の参加者を学年別にシャッフルした混成チームによる団体戦を行いました。青年部(20代から40代)の剣道技術と審判能力の



中野区剣道フェスティバル

向上を目指して、午後の部は中村会長より各方面に依頼をしていただいた剣道範士八段、教士

八段の20名以上の先生に来ていただき、元立ち稽古会を実施しました。毎月1回（8月は実施せず）の連盟稽古会も、コロナ禍が落ち着きを見せた令和4年度から本格的に再開しました。例月の合同稽古会では、審査のためだけの剣道形ではなく、身につく剣道形を目指し、稽古前半は会長をはじめ連盟所属の八段の先生による剣道形の指導があり、後半、指導稽古を実施しています。令和6年6月には中村会長はじめ本連盟所属の教士八段4名と外部から招いた教士八段3名により、青年部を中心に（オーバーエイジの50代以上も参加可）審判講習を旗の持ち方から一本の見極めまで教わりました。

12月にも、合同稽古の内容を、例月の前半剣道形・後半稽古から変更し、中村会長が外部の八段の先生に依頼をしていただき、青年部を中心に審判講習および稽古会を実施しました。

また、令和7年2月2日に開催する第2回中野剣道フェスティバルの開催に向け、普及委



剣道形の指導

員会の委員を、昨年のメンバーを若干入れ換えつつ、連盟所属団体の少年剣道指導者から会長が招集して増員し、前年度よりもよい大会にするための検討を重ねて実施しています。

次の世代へつなぐ

西東京剣道連盟

会長 宮林 高夫

新年を迎え、加盟27団体、4000人超の会員で構成する当連盟では新年度に向け多忙な毎日を過しています。

当連盟の組織運営体制の基本は、最高議決機関の理事会で、団体選出理事と会長が指名又は推薦する役員および業務遂行を任務とする常任幹事で構成しています。

理事会では、事業計画・予算、事業報告・決算等について審議し議決します。

次に、当連盟の活動内容は大きく分けて次の4つです。

一つ目は稽古会です。内訳は毎月実施している合同稽古会と原則隔月で実施している男子稽古会・女子稽古会・形強化稽古会です。

二つ目は各種大会です。内訳としては、男子および女子の選手権大会、また、小学生・中学生・一般男子・一般女子・シニア各部の団体戦を西東京剣道大会として実施しました。さらに、

支部活動報告



令和6年11月4日西東京剣道大会

形剣道大会、都国民スポーツ大会選手選考会出場選手の子選考会を実施しています。

令和6年度から大会内容の見直しを行い、別開催していた男子・女子選手権大会を同日開催にしました。また、西東京剣道大会についても小学生・中学生・一般男子の3部門に別開催していた一般女子の部を加え、さらに、アンケートを行い、シニアの部を新設し、合計5部門で開催しました。



令和6年6月30日前期三段以下審査会

三つ目は審査会です。内訳は三段以下審査会と一級審査会へ登録審査員派遣です。

四つ目は講習会です。内訳としては、ブロック講習会、登録審査員等剣道研究会、女子審判講習会を実施しました。

また、令和6年度から加盟団体との諸連絡を相互のメール送信で行い、事務処理の効率化を図りました。今後も次の世代につなげていける取り組みを継続してまいります。

◇中体連活動報告◇

競技力向上の取り組みと部活動改革

東京都中学校体育連盟剣道部

事務局長 小野定則

東京都中学校体育連盟剣道部（以下、中体連と称します）が毎年実施している実態調査によれば、今年度の剣道部設置校は男子300校・女子261校、部員数総計は男子2357名・女子1764名となっています。10年前と比較すると、男子54校、1122名・女子62校、300名のそれぞれ減少となっています。残念ながら今後も少子化の進行に伴い設置校・部員数の減少は続くものと危惧しております。

競技力向上の取り組み

中体連は東京都剣道連盟との共催で、東京都競技力向上事業としてジュニア強化選手錬成会を年3回実施しています。特に、例年2月には警視庁より指導室師範の先生や現役特選選手を派遣していただき、憧れをもつて多くの一流の教えをいただいています。なお、強化選手の選抜にあたっては、都大会で活躍した選手に加え、各ブロックから推薦を募り、東京都全域における中学生の競技力向上ならびに普及活動の一環としております。

部活動改革と地域移行

文部科学省およびスポーツ庁は令和5年度から令和7年度の3年間で「学校部活動改革推進期間」として、部活動の地域連携・地域移行をまずは休日の活動から進めるとしています。今後は平日の地域展開も含めた改革が進められる予定です。しかし、東京都では各市区町村教育委員会主導による地域クラブ活動への移行はほとんど進んでおらず、令和6年度登録は1件のみの登録にとどまっています。今後、地域移行・地域展開の過程では各剣道連盟の皆様にお力添えをいただく場面が増えることと思われまます。未来を担う中学生剣士のため何卒よろしくお願い申し上げます。



令和6年度第1回ジュニア強化錬成会

大会案内

第73回 東京都剣道大会

日時：令和7年2月2日(日) 午前10時開会

場所：東京武道館

主催：一般財団法人東京都剣道連盟

後援：公益財団法人全日本剣道連盟、東京都、
読売新聞社(申請中)

本連盟加盟団体から選抜された精鋭7選手のチームによってトーナメント戦を行い、優勝・準優勝・3位(2チーム)・敢闘賞4チームを表彰します。

第20回 東京都少年剣道大会

日時：令和7年3月20日(木・祝) 午前10時開会

場所：東京武道館

主催：一般財団法人東京都剣道連盟

次代を担う少年剣士が「木刀による基本技稽古法」と「一本勝負」を競い合います。

本誌の掲載記事の無断掲載および複写を禁ずる

印刷 株式会社マルチプレス

編集委員 目黒 秀治

編集委員 松本高明・小沢 清・柳 徹

編集委員 西山 貢

URL <http://www.tokyo-kendo.or.jp>

TEL 〇三五四〇五二一六六

TEL 〇三五四〇五二一六六

FAX 〇三五四〇五二一六八〇

TEL 〇三五四〇五二一六八〇

TEL 105-0004

発行所 一般財団法人東京都剣道連盟

発行人 千葉 胤道

第97号(令和七年一月一日発行)

東京剣連だより東京都剣道連盟の
ホームページ(HP)を
ぜひ、ご覧下さい

フレッシュな情報を提供しております

URL <http://www.tokyo-kendo.or.jp>
東京剣連・東剣連でも見ることができます

連盟案内

